

より自己発信型にするための初級中国語教育  
～この一年の試行と評価を中心に～

中西千香  
（愛知県立大学）

## 1. 今日のおはなしについて

今日は、2014年度A大学K学部での第二外国語科目、中国語入門Ⅰ、Ⅱでの実践報告をお話します。2013年については、中西2013を参照。レアリアの活用については、お話しません。（2014年7月26日（土）於関西大学、「プチITを利用した外国語教育の実践」にて報告済み<sup>1)</sup>）

今回は特に通常の授業に加えて行った学生自己発信型の動画作成タスク実施に関する報告、評価方法、その反省がメインです。

## 2. 授業形態と使用テキスト

### ■授業形態

A大学K学部E学科1年生（30:春37名（うち一人2年生）、秋38名（うち二人2年生））およびH学科1年生（29:春26名、秋27名（うち一人H学部2年生））。

週二回の中国語の授業:

クラス名	29	30
中国語入門Ⅰ,Ⅱ	中西（金4）	中西（金5）
中国語基礎Ⅰ,Ⅱ	I先生（火4）	S先生（月5）

中西の授業の情報（Q&A、文法ポイント、練習問題答え、小テストの範囲、期末テストの範囲、課題に関する情報、その他中国語学習情報）については、すべてmoodle<sup>2)</sup>で管理、課題提出もmoodleから行うようにした。

専任であるS先生の指令により、毎回の授業後、メールにて授業内容や学生の出席状況など報告し、互いの進行度合いを把握。動画作成タスクについてもI先生もS先生も把握。

### ■使用テキスト

中西使用テキスト:『キャンパスライフ中国語』（白帝社）

S先生,I先生使用テキスト:『中国語への道～近きから遠きへ～』（金星堂）

### ■評価方法

春学期:『近くて遠い中国語』読後レポート、「自己紹介」動画、ペーパーによるテスト

秋学期:「私の好きな〇〇紹介」動画、ペーパーによるテスト

<sup>1)</sup> <http://www.ch-station.org/ws2014/>参照。

<sup>2)</sup> オープンソースのe-learningプラットフォームのこと。筆者はA大学で正式導入した2009年より利用している。<http://lms.aichi-u.ac.jp/2014/>

### 3.一年間のスケジュール

前期	4月	授業開始前アンケート（アンケートに追加して、名前、出身地なども書かせる）、評価についての説明、5月×切の『近くて遠い中国語』読後感想レポートの説明、6月×切の「自己紹介」動画提出の旨伝える。
	5月	読書感想レポート提出 <sup>3</sup> 、「自己紹介」動画に必要なフォーム、パーツ（個々の名前、出身地などピンイン表記など）を学生のニーズに合わせて、タスクシート作成、配布。
	6月	毎回の授業で自己紹介のフォーム、パーツを発音練習。 自己紹介動画の評価ループリックを作成、学生に配布、周知する。学生たちは、個々で準備をし、動画作成。
	月末	動画作成提出×切（提出は遅れても7月初旬までは許した）
	7月	買い物のシーンの課（第5課）にあわせて、レアリア学習 <sup>4</sup> 春学期終了（発音、ピンイン～第5課）、期末テスト
	夏休み	
後期	9月	前期の復習（発音、ピンイン～第5課）、後期動画課題となる「私の好きな〇〇紹介」について説明、必要フレーズパーツを書いたタスクシートを作成、配布。ループリック作成し、学生に配布、周知する。提出期限についても説明。
	10月	授業の合間に課題に必要なフレーズパーツの練習。文章を作る時間を与える（与える時は10分～15分ほど、机間巡回をしながら指導）
	11月末	動画作成提出×切（提出は遅れても12月初旬までは許した）
	12月	※ループリックの評価をあげるための再提出は認める。
	1月	秋学期終了（第6課～第15課）、期末テスト

### 4.動画作成タスクをしようと思ったきっかけ～「使える中国語」のゴールがみえた！

- ✓ たった一年間の第二外国語の授業だが、ペーパーのテスト以外に、より彼らが中国語を理解できている！話すことができる！と実感できる課題はないだろうか。
  - ✓ ペーパーのテストだけで評価するなんて今時ではない。パフォーマンスもみたい！
  - ✓ 彼らに自分自身でできる中国語の何かを残してあげたかった。（下手でもいいから）
- ▼
- ✓ 春学期はフォーマットがある程度決まる「自己紹介」、秋学期は自己発信できるように「好きな〇〇紹介」とした。実際には、春学期の課題の出来が思いのほか良かったので、続けて課題を出すことにした。また、Chinese station<sup>5</sup>でも募集することもあり、上記課題にした。ただ、学生のやりたいようにさせたかったこともあり、自由度は残した。
  - ✓ テキストの文法、表現も学びつつ、もう一方で「自己紹介ができる」「自分の好きなものについて話すことができる」、成果物を残せる、よりアクティブな授業へ進化できた。

<sup>3</sup> 阿辻哲次著『近くて遠い中国語』を読んでもらい各章ごとに2カ所引用して、コメント（感想）を手書きで書いてもらう。

<sup>4</sup> 中西 2013、2014年7月「プチITを利用した外国語教育の実践」参照。

<sup>5</sup> <http://www.ch-station.org/intro/>

## 5. 実際の作品とルーブリック作成の課題

■ルーブリックとは…数段階に分けて、レベルのめやすを記述したもの。達成度を判断する評価基準表。成績をつけるための教授者だけの評価基準というものではなく、学習者にもタスクを行う前に渡し、教授者、学習者ともに評価基準を透明化して、学習者に提示できる。ぶれない基準がそこにあるという点では、恣意的なものにならずに済む。

	4 目的以上	3 目的達成	2 目的達成までもう少し	1 努力が必要
基準 1				
基準 2 × 2				
基準 3				
基準 4				
総合得点	/ 20点満点			

それぞれの枠内には評価基準に対して、どうしたらその評価になれるかを具体的に記入する。あまりマイナス表現にならないように注意。この枠内の書き方は学生のレベルやモチベーションによって、要考慮。

より評価の重点を置きたい場合、×2にして加点では、いくつか動画をご覧ください、ルーブリックで採点してみましょう。

## 6. 今年度の反省と今後の課題

### 6.1 やってみたいの感想

繰り返す練習することにより発音、かなり固定した言い回しが身につく。  
授業で習った言い回しを自分の言葉でもう一度使おうという思いになる。  
授業以外にもう一つタスクを走らせておくことで、教科書を学ぶ以上に意識的に学べる。  
既習事項を見直す良い機会を得られる。

### 6.2 問題点と改善方法について

#### ■問題1:動画課題の導き方

普段の授業との絡み

自己練習の時間→実際に時間はそれほど多く設けていない、録音の要求は喜んで受ける。  
これを言いたい！の要求を成就させるために。→プリント+α

学習者にあわせた補助プリントの作成方法。例) 出身地、彼らの所属(学祭実行委員会、運動部、サークル名)、世代の趣味。

期間の割り振り(原稿作成期間、動画撮影期間をきっちりくぎったほうが良かった)

#### ■問題2:ルーブリックの作り方

教員側：学生のどこを評価したいのか。どこをより評価したいのか。

ルーブリックの基準の表現は正しかったか。

学習者：ルーブリックをみて、それに向かって課題をやったか。

#### ■その他

提出締切後にもう一度やり直しの期間をもうける意義。

#### 【参考文献】

中西千香 2013「初修中国語教育におけるICT・レリア活用の試み」『漢字文献情報処理研究』第14号 pp124-132

【附表1】春学期課題 自己紹介動画作成タスク ループリック

## 「自己紹介動画作成」評価ループリック

作成者：中西千香

評価基準	4目標達成、それ以上にできました	3目標達成	2目標達成までもう少し	1まだまだ努力が必要です
声調	声調を守り、正確に言えた。	声調がぶれて、正確さが少しだけ足りない(ミス3か所以内)。	声調がぶれて、正確さが少し足りない(ミス5か所以内)。	声調がぶれて、正確さが足りない(ミス5か所以上)。
発音×2	子音、母音に対して、唇の形、舌の位置を意識して、滑舌よく、より正確に発音できた。	子音、母音に対して、唇の形、舌の位置を意識して、発音できたが、正確さが少しだけ足りなかった(ミス3か所以内)。	子音、母音に対して、唇の形、舌の位置を意識して、発音できたが、正確さが少しだけ足りなかった(ミス5か所以内)。	子音、母音に対して、唇の形、舌の位置を意識して、発音したが、正確さが足りなかった(ミス5か所以上)。
流暢さ	よどみなく、中国語の抑揚を意識して、わかりやすく、滑らかに言えた。	よどみなく、中国語の抑揚を意識して、わかりやすく、滑らかに言えたが、必要のないところにポーズが入ってしまった(ミス3か所以内)。	よどみなく、中国語の抑揚を意識して、わかりやすく、滑らかに言えたが、必要のないところにポーズが入ってしまった(ミス5か所以内)。	途中無駄なポーズが多く入り、とぎれとぎれになってしまった。
表情・オリジナリティ	元気よく、表情よく、はきはきと自分のことをつたえることができた。誰がみてもわかりやすいように小道具や身振り手振りなどつけて、個性あふれる工夫ができていた。	表情よく、はきはきと自分のことをつたえることができた。	表情よく、はきはきとしようと試みたが、伏し目がちになってしまった。	自己紹介としては、あまり伝わらない、表情の悪いものになった。
総合得点	／20点満点			
コメント				

【附表2】秋学期課題 「私の好きな〇〇紹介」動画タスク ループリック

## 「私の好きなもの紹介動画」評価ループリック

作成者：中西千香

評価基準	4目標達成、それ以上にできました	3目標達成	2目標達成までもう少し	1まだまだ努力が必要です
発音×2	声調、発音を守り、正確に言えた。(ほぼノーミス～ミス3か所以内)	声調や発音を間違えて、正確さが少しだけ足りない(ミス5か所以内)。	声調や発音がぶれて、正確さが少し足りない(ミス8か所以内)。	声調や発音がぶれて、正確さが足りない(ミス8か所以上)。
流暢さ	よどみなく、中国語の抑揚を意識して、わかりやすく、滑らかに言えた。	よどみなく、中国語の抑揚を意識して、滑らかに言えたが、必要のないところにポーズが入ってしまった(ミス3か所以内)。	なんとか、中国語の抑揚を意識して、言えたが、必要のないところにポーズが入ってしまった(ミス5か所以内)。	途中無駄なポーズが多く入り、とぎれとぎれになってしまった。(ミス5か所以上)
内容	起承転結がはっきりみえる。好きなもの、どうして好きか、自分とのかかわりを説明できていた。予想以上のできばえ。	好きなもの、どうして好きか、自分とのかかわりをちゃんと説明できていた。	ただ好きだというだけで、その好きな理由などが伝えきれいいなかった。	全く何を言いたいのかわからない。内容がない。
わかりやすさ、オリジナリティ	元気よく、はきはきと自分の好きなものをつたえることができた。誰がみてもわかりやすいように、予想を超える個性あふれる工夫がなされていた。	表情よく、はきはきと自分の好きなものをつたえることができた。それなりに工夫がなされ、わかりやすさを追い求めている。	形にはなっていたが、伝えようという意志も弱く、わかりにくさのほうに前向きにでてしまった。	好きなものを伝えるはずが、何か好きなのか、どう好きなのか、全くわからないものになってしまった。
総合得点	／20点満点			
コメント				